



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場会社名 株式会社東栄リーフアーライン 上場取引所 東  
 コード番号 9133 URL <http://www.toeireefer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鍋島 嘉六 TEL 03-5476-2085  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,015	△35.0	69	△48.1	96	△54.2	90	△34.8
27年3月期第2四半期	4,640	△0.4	133	△18.3	210	49.7	139	106.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 32百万円 (△81.7%) 27年3月期第2四半期 178百万円 (195.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	15.61	—
27年3月期第2四半期	23.97	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	11,843	4,145	35.0	713.56
27年3月期	12,108	4,200	34.6	722.96

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,145百万円 27年3月期 4,200百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	△19.9	600	△19.4	600	△30.4	450	△20.9	77.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	6,050,000株	27年3月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	239,756株	27年3月期	239,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	5,810,315株	27年3月期2Q	5,810,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(2) 四半期連結貸借対照表	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景として、全体として緩やかな回復基調であったものの、中国経済の減速などにより、景気回復には弱さが見られました。

このような状況のもと、当社グループは安定した収益確保を第一に据え、個別(単体)での経常利益・四半期純利益は若干計画を上回りました。しかしながら前年同期比較では、海運事業において運航船舶の減隻および船舶機関トラブルによる不稼働の発生また定期修繕の前倒しなど、洋上給油事業において燃料油価格下落ならびに販売数量の減少、貿易事業において餌料の輸出販売減少などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は前期比16億2千5百万円(35.0%)減収、営業利益は前期比6千4百万円(48.1%)減益、経常利益は前期比1億1千4百万円(54.2%)減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比4千8百万円(34.8%)減益となりました。

当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

(百万円)	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	増減率(%)
売上高	4,640	3,015	△35.0
営業利益	133	69	△48.1
経常利益	210	96	△54.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	90	△34.8

また、主なセグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	増減率 (%)
海運事業	売上高	1,566	1,328	△15.1
	セグメント利益	143	134	△6.0
貿易事業	売上高	1,454	771	△46.9
	セグメント利益	84	30	△63.6
洋上給油事業	売上高	1,361	609	△55.2
	セグメント利益	43	19	△55.8
船舶貸渡事業	売上高	258	306	18.3
	セグメント利益	9	38	286.7

① 海運事業

海運事業につきましては、契約満了による超低温冷蔵船1隻返船などにより売上高は減少しました。また、船舶機関トラブルによる不稼働の発生や定期修繕の前倒しなどのコスト増加により、前年同期と比べ減収減益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、第2四半期会計期間は第1四半期会計期間と比べて売上高・セグメント利益ともに改善いたしましたが、餌料販売プロジェクトにおける輸出販売減少などが大きく響き、前年同期と比べ大幅な減収減益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、漁船の操業海域変更に伴う給油需要縮小による販売数量の減少、また、燃料油価格下落による販売単価の低下により、前年同期と比べ大きく減収減益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、円安効果により、前年同期と比べ増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円減少し、118億4千3百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千7百万円減少し、72億7千9百万円となりました。これは、現金及び預金19億3千2百万円などが増加し、受取手形・海運業未収金及び売掛金7億3千4百万円、及びその他に含まれる短期貸付金7億6千万円、立替金6億1千9百万円、前渡金2億4千万円などが減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、45億6千4百万円となりました。これは、投資その他の資産の敷金及び保証金1億9千9百万円などが増加し、有形固定資産の船舶において、減価償却費計上等により2億4百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少し、76億9千7百万円となりました。これは、固定負債で長期借入金10億6千5百万円などが増加し、流動負債において海運業未払金及び買掛金3億9千8百万円、短期借入金2億5百万円、未払法人税等2億1千4百万円、及びその他に含まれる預り金2億9千9百万円などが減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5千4百万円減少し、41億4千5百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金1千7百万円の減少、及び繰延ヘッジ損益において前期末6百万円から当第2四半期は3千1百万円のマイナス計上となったことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末より0.4ポイント増加し35.0%になりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億3千5百万円増加し38億2千5百万円となりました。

その内訳としましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少△3億9千8百万円、法人税等の支払額△2億1千3百万円などに対して、売上債権の減少による7億3千4百万円、現金支出を伴わない減価償却費2億2千3百万円などにより6億3千1百万円（前年同期は3億2千万円）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付けによる支出△18億4千8百万円、貸付金の回収による収入25億8千9百万円などにより、6億5千万円（前年同期は△5億8千5百万円）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済△2億円、長期借入金の返済△6億4千万円などの支出があったものの、長期借入れによる収入17億円により、7億5千2百万円（前年同期は2億3千2百万円）となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間（連結・個別）につきましては、海運事業では船舶所有子会社での船舶機関トラブルによる不稼働の発生や定期修繕の前倒しなど、洋上給油事業では漁船の操業海域変更に伴う販売数量の減少、また貿易事業での原料不足・国内マーケットの低迷による販売数量の減少などにより、売上高・利益ともに修正いたしました。

平成28年3月期通期（連結・個別）の業績予想につきましては、売上高についてのみ第2四半期累計期間の実績により修正いたしました。利益につきましては現時点においては計画通り進捗する見込みです。

配当予想につきましては期末12円配当に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
海運業収益	1,825,084	1,635,063
海運業費用	1,563,021	1,348,123
海運業利益	262,062	286,939
貿易業収益	1,454,083	771,006
貿易業費用	1,311,645	680,888
貿易業利益	142,437	90,118
洋上給油事業収益	1,361,639	609,345
洋上給油事業費用	1,313,023	588,974
洋上給油事業利益	48,615	20,371
売上総利益	453,116	397,429
販売費及び一般管理費	319,993	328,413
営業利益	133,122	69,015
営業外収益		
受取利息	37,597	45,336
受取配当金	1,699	2,284
為替差益	22,605	6,126
その他	64,102	1,709
営業外収益合計	126,005	55,456
営業外費用		
支払利息	45,303	26,274
その他	3,452	1,933
営業外費用合計	48,755	28,208
経常利益	210,372	96,264
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,069
特別利益合計	—	25,069
特別損失		
固定資産売却損	393	—
特別損失合計	393	—
税金等調整前四半期純利益	209,979	121,333
法人税、住民税及び事業税	50,735	1,401
法人税等調整額	19,961	29,176
法人税等合計	70,696	30,578
四半期純利益	139,282	90,755
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,282	90,755

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	139,282	90,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,809	△17,317
繰延ヘッジ損益	18,438	△37,693
為替換算調整勘定	3,628	△3,219
その他の包括利益合計	38,875	△58,230
四半期包括利益	178,158	32,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,158	32,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,903,388	3,835,445
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,596,551	862,039
商品及び製品	175,491	246,977
原材料及び貯蔵品	263,370	221,289
その他	3,604,782	2,118,289
貸倒引当金	△6,716	△4,618
流動資産合計	7,536,869	7,279,422
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	3,304,982	3,100,171
その他(純額)	216,409	281,328
有形固定資産合計	3,521,391	3,381,500
無形固定資産		
43,201		36,512
投資その他の資産		
その他	1,007,303	1,146,895
貸倒引当金	△646	△659
投資その他の資産合計	1,006,657	1,146,236
固定資産合計	4,571,250	4,564,248
資産合計	12,108,119	11,843,671



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	978,167	579,469
短期借入金	1,473,204	1,267,634
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	218,656	4,363
賞与引当金	94,766	29,555
役員賞与引当金	50,000	—
その他	779,971	513,117
流動負債合計	3,634,766	2,434,139
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	3,884,013	4,949,181
特別修繕引当金	91,548	81,784
退職給付に係る負債	153,163	153,462
その他	93,973	49,108
固定負債合計	4,272,697	5,263,536
負債合計	7,907,464	7,697,676
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	890,000	890,000
資本剰余金	961,593	961,593
利益剰余金	2,328,072	2,331,673
自己株式	△49,151	△49,181
株主資本合計	4,130,513	4,134,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,336	35,018
繰延ヘッジ損益	6,260	△31,432
為替換算調整勘定	11,544	8,324
その他の包括利益累計額合計	70,141	11,910
純資産合計	4,200,654	4,145,995
負債純資産合計	12,108,119	11,843,671

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	209,979	121,333
減価償却費	233,480	223,129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61,345	△2,084
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,886	△65,211
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,000	△50,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,606	299
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	9,533	△9,763
受取利息及び受取配当金	△39,297	△47,621
支払利息	45,303	26,274
デリバティブ評価損益 (△は益)	501	—
為替差損益 (△は益)	828	△4,098
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△25,069
売上債権の増減額 (△は増加)	△380,149	734,512
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,344	△29,404
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,608	△398,697
その他	494,903	351,919
小計	463,197	825,517
利息及び配当金の受取額	32,859	45,233
利息の支払額	△33,280	△26,042
法人税等の支払額	△141,919	△213,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,856	631,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	103,590
有形固定資産の取得による支出	△205,287	△57,081
無形固定資産の取得による支出	—	△2,372
投資有価証券の売却による収入	—	47,485
貸付けによる支出	△2,262,700	△1,848,500
貸付金の回収による収入	1,867,443	2,589,962
敷金及び保証金の差入による支出	—	△200,000
その他	14,909	17,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△585,633	650,641
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△200,000
長期借入れによる収入	930,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△589,321	△640,402
社債の償還による支出	△50,000	△20,000
配当金の支払額	△57,991	△87,128
その他	—	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,687	752,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,556	1,198
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△29,532	2,035,647
現金及び現金同等物の期首残高	1,063,623	1,789,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,034,090	3,825,445

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,566,449	1,454,083	1,361,639	258,635	4,640,807	—	4,640,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,566,449	1,454,083	1,361,639	258,635	4,640,807	—	4,640,807
セグメント利益	143,479	84,526	43,054	9,871	280,933	(147,810)	133,122

(注) 1. セグメント利益の調整額△147,810千円には、セグメント間取引消去8,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,910千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,328,868	771,006	609,345	306,194	3,015,415	—	3,015,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,328,868	771,006	609,345	306,194	3,015,415	—	3,015,415
セグメント利益	134,746	30,766	19,004	38,175	222,692	(153,677)	69,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△153,677千円には、セグメント間取引消去9,300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,977千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。